

## 令和3年度市政懇談会 会議録（要旨）

テーマ：健康な身体で、スポーツに親しむ

<b>【日 時】</b> 令和3年11月5日（金） 18時30分 ～ 19時30分
<b>【出席者】</b> ○篠崎市長 ○（参加者6名） G o p p o ええぞなクラブ会長 : 中野 久治 G o p p o ええぞなクラブ副会長 : 赤川 宏 G o p p o ええぞなクラブ理事 : 西村 きよ子 コミュニティスポーツくすのき副会長 : 境 憲一 よりあい処西ヶ丘会長 : 新谷 弘昌 白鳥健康教室 会長 : 中川 宏夫 ○市民環境部次長 ○東岐波市民センター 地域・保健福祉支援チーム ○事務局（広報広聴課）
<b>【概 要】</b> 1 開会 2 市長あいさつ 3 参加者自己紹介 4 開催目的説明 5 意見交換・懇談 6 閉会
<b>【意見交換・懇談】</b>
<b>○縦割り行政について</b> <b>【G o p p o ええぞなクラブ会長】</b> ・スポーツ庁では、行政部署の横の連携の大切さを強調しているが、宇部市では出来ない。スポーツクラブの運営は文化・スポーツ振興課、健康づくりは健康増進課、活動拠点の漁港内施設は水産振興課が窓口となるなど、行政の縦割りを強く感じる。 ・総合型地域スポーツクラブは、地域活性化の核となる高い公共性を有する団体である。このことを理解していない課がある。当クラブでは、地代は市に、建物使用料は漁協に支払っており、これらの費用が運営のネックとなっている。これまで水産振興課に地代の減免等を相談しても、話が前に進まなかった。 <b>【コミュニティスポーツくすのき副会長】</b> ・文化・スポーツ振興課をはじめ、健康増進課や教育委員会と関わりがある。横の連携が不十分で、無駄が生じることも多い。一つの事業として対応してほしい。 <b>【よりあい処西ヶ丘会長】</b> ・自治会長や民生委員の経験があり、地域・保健福祉支援チームを始め市の多くの部署と連携が図れている。うまく運営できており、助かっている。

### 【市長】

- ・私も縦割り行政の問題点を強く感じた。G o p p o ええぞなクラブが利用している施設は、漁業法で整備されたものなので、水産振興課が窓口となっている。この懇談会を開催するにあたり、当該施設の地代の減免等について水産振興課に確認したところ、施設を見に行かなかったとのことだった。見に行くように指示した。
- ・総合型地域スポーツクラブについては、「健康寿命の延伸」と「生涯スポーツを楽しむ」という2つの観点から予算を作成しなければいけない。予算も含めて、市組織等の整理が必要だと考えている。
- ・スポーツだけでなく、健康づくり、教育も合わせた協議会を立ち上げたほうが良いのではないかと整理して、皆さんに提案したい。

### OPRについて（市広報紙への掲載、自治会での回覧等）

#### 【コミュニティスポーツ副会長】

- ・市広報紙への掲載や自治会での回覧等を支援してほしい。

#### 【G o p p o ええぞなクラブ理事】

- ・総合型地域スポーツクラブに対する市民の認知度は低い。市広報紙等でも活動内容をPRしてほしい。

#### 【白鳥健康教室会長】

- ・取り組みやイベント等を市民に周知するチラシの配布について、柔軟な対応をお願いしたい。会員募集の記事を市広報紙に掲載するなど、協力してほしい。
- ・情報伝達方法に悩んでいる。良いアドバイスがほしい。

#### 【コミュニティスポーツくすのき副会長】

- ・市広報紙と一緒にクラブの活動広報紙などを配布してほしい。クラブ、スポーツ教室の紹介などをもっと行いたい。

#### 【よりあい処西が丘会長】

- ・活動広報紙は、自治会内で回覧している。また、ふれあいセンターでも掲示してもらってPRしている。

#### 【G o p p o ええぞなクラブ会長】

- ・自治会の協力を得て、3年前から市広報紙と一緒にクラブの活動チラシを毎月班回覧している。新会員の入会につながるなど助かっている。

### 【市長】

- ・各自治会からは配布物を減らしてほしいとお願いされている。
- ・市広報紙の増ページを検討しており、「まちづくり」や「スポーツ・健康づくり」など、毎月テーマを決めて、市の方向性を詳しく掲載し市民と共にまちづくりを進めていきたい。「スポーツ・健康づくり」のテーマを取り上げる際は、総合型地域スポーツクラブの活動を紹介させてほしい。また、メンバー募集に活用してほしい。
- ・情報伝達媒体の選択が必要だ。人によって効果的な媒体は異なる。
- ・できる事が限られている中で、十分でないことは理解しており、今後とも情報伝達方

法等についてご提言をいただきたい。

## ○運営支援・補助金について

### 【G o p p o ええぞなクラブ副会長】

- ・総合型地域スポーツクラブは、スタートから20年が経過しているが、認知度が低い。市内24地区で数団体しかない。市が総合型地域スポーツクラブの新設を推進するなら、運営のコンサルティングが出来る人材の派遣支援や、管理経費が不要な施設の提供、積極的なPRなどが必須である。設立には莫大なエネルギーが必要だ。このままでは団体数は増えない。
- ・当クラブの会長は、無報酬で事務所に常駐している。会員数は、コロナ禍で200人から100人に減少した。常駐職員を雇用できる必要会員数として、400人を目標に会員募集を行っている。しかし、自力で募集するには限界があり、市の援助をお願いしたい。
- ・設立メンバーなどのクラブで活躍していた人が、高齢化等のために退会することが続いており、残された役員等の負担が急増している。後継者不足の問題は、どこのクラブも同じだ。クラブを持続させるエネルギーは、並大抵ではないことを理解してほしい。

### 【よりあい処西が丘会長】

- ・参加者の固定化、スタッフの高齢化、新しいスタッフが入会しないことが悩みだ。

### 【白鳥健康教室会長】

- ・新型コロナウイルス感染症等の予期しない事態が発生した場合は、財政基盤の脆弱なクラブへの宇部市スポーツ活動推進助成金の増額を検討してほしい。

### 【市長】

- ・コロナ禍で家に閉じこもりがちな高齢者が増えている。スポーツを通して心も身体も元気になってほしいので、地域の健康をつくる団体として、皆さんに力を貸していただきたい。自治会やコミュニティ推進協議会との連携も必要だ。
- ・コロナ禍でどのような支援が効果的なのか、問題を整理し、市の支援の方向性を定めていきたい。コロナ関係の国等からの交付金も活用できないか検討していく。
- ・健康づくりは医療費削減にもつながるので、スマートウェルネスシティの観点から補助できることがないか検討する。健康づくりということで、健康福祉部から運営補助金を出している個別運動プログラムもある。
- ・スマートウェルネスシティの取組では、健康づくりによる医療費削減額などの具体的なデータが出ている。参加者数や健康づくりに寄与した人数など、データに基づいて補助金を出していくという仕組みをつくるよう指示している。
- ・教員の働き方改革の中で、部活の指導者を外部から派遣することが検討されている。これを受託することも、持続可能なクラブ運営につながるのではないか。
- ・コンサルティング支援については、県の指導者派遣事業の活用が考えられる。
- ・市の課題も皆さんと共有したい。健康づくりの推進のために、様々な取り組みをスマ

ートウェルネスシティの中で実施しているが、参加者がいつも同じで、そこから先へいかに拡大するかが大きな課題になっている。市広報紙などを通じて、さらに発信していく必要がある。

## ○活動施設について

### 【Goppoええぞなクラブ理事】

- ・岐波駅前の旧東岐波農協の施設を活用できるようにしてほしい。
- ・車の運転ができず、丸尾漁港にある当クラブの利用施設まで家族に送迎してもらう参加者が少なくない。家族の協力がなく外出することができない高齢者も潜在的に多くいる。この人達のために、徒歩で行ける地域の自治会館をクラブの利用施設にできれば、多くの参加者が見込め、クラブの活動効果も上がるのではないか。

### 【白鳥健康教室会長】

- ・総合型地域スポーツクラブ増設の足掛かりとして、私が2010年の市民ワークショップで提案した「小・中学校へのナイター設備設置」を再提案したい。

### 【コミュニティスポーツくすのき副会長】

- ・学校体育施設の一般開放の調整を総合型地域スポーツクラブに任せてほしい。いまは学校が行っているが、既存クラブが既得権などを主張し、新しく総合型地域スポーツクラブを立ち上げたくても活動場所の確保が難しい。
- ・地区コミュニティ推進協議会などと同様に、市の施設の優先利用を認めてほしい。

### 【よりあい処西が丘会長】

- ・当クラブは、自治会単位で立ち上げた小規模なもの。活動拠点は自治会館で、歩いて行ける。

### 【市長】

- ・旧東岐波農協の施設利用について、農協に問い合わせたところ、一部貸出可能とのことだった。料金等は、直接農協に問い合わせていただきたい。
- ・学校の体育館の鍵を電子キーで開けるとい実証実験を行っている。予約した方に電子キーが届き、入館時に画面に入力して開錠する仕組みだ。学校側の関与なしで体育館を貸し出す仕組みが出来たので、これから皆さんが利用しやすいようにルールを整えたい。システムで見える化を進め、皆さんが利用しやすいような新たなルールづくりを自治会やコミュニティ推進協議会と一緒に進めていく必要がある。
- ・体育館使用料は、受益者に相応の負担をしていただいている。地域コミュニティ活動でも料金を徴収しているケースはあり、そことの公平性を図る必要がある。

## ○市の備品の貸与について

### 【Goppoええぞなクラブ理事】

- ・当クラブ内に「まちかどブックコーナー」が設置されている。会員以外の利用者もあり、本の寄付が多くて本棚が不足している。市の備品で使用していないものがあれば貸してほしい。

**【市長】**

- ・公平性の観点から、特定の方だけに貸し出すことは難しいことをご理解いただきたい。

**○本日のテーマ「健康な身体で、スポーツに親しむ」について**

**【コミュニティスポーツくすのき副会長】**

- ・本日のテーマ「健康な身体で、スポーツに親しむ」は手段と目的が逆ではないか。「スポーツを手段として健康を保つと共に、地域を活性化させる」が適切だと思う。

**【市長】**

- ・同感だ。スポーツが手段で健康が目的、その理解が市の組織においても不十分である。

**○多世代交流を促進する機能について**

**【コミュニティスポーツくすのき副会長】**

- ・総合型地域スポーツクラブには、多世代交流を促進するという機能もある。例えば、子育て世代のお母さんは、他の参加者に子どもの面倒を見てもらいながらスポーツを楽しんでいる。このすばらしい機能を有する総合型地域スポーツクラブ活動を広げていきたい。行政の援助をお願いしたい。

**【市長】**

- ・市として総合型地域スポーツクラブの特徴や機能、そして皆さんのお力をまだ十分活用できていない。活用できれば様々な社会課題を解決できると考えている。
- ・皆さんの力をお借りしながら、多世代がスポーツに親しんで健康になるという目標に取り組んでいきたい。

**○大学との連携について**

**【G o p p o ええぞなクラブ会長】**

- ・大学との連携について、助成金ではなく、フォローアップのための講師の年間契約等をお願いしたい。近場のいい講師を呼びたい。自分達から講師を依頼するよりも、市から依頼してもらった方がやりやすい。講師に継続してフォローしてほしい。

**【市長】**

- ・県体協の講師派遣事業もぜひ活用していただきたい。
- ・市からの講師依頼については、また相談していただき、こちらも検討させてほしい。

**○プロスポーツチームについて**

**【G o p p o ええぞなクラブ会長】**

- ・来年度、厚狭管内で大きなイベントをする予定だ。プロスポーツチームの選手を呼ぶことはできるのか。

**【市長】**

- ・選手を呼ぶことはできる。選手が来ればファンも来る。楽しい体験から健康づくりにつなげていくことも一つの手法だ。市内に本部のあるプロスポーツチームは、山口ペ

イトリオッツとミネルバ宇部の2チームで、県内には他にレノファ山口もある。これらのチームを活用してもらいたい。

- ・市民の皆さんにプロスポーツを楽しんでもらいたい。まずは、見に来てもらうための取り組みを来年予定している。
- ・プロスポーツチームを活用しながら、皆さんと一緒にになって総合型地域スポーツクラブを盛り上げていきたい。他に良い活用方法があれば提言をお願いしたい。

## 〇クラブの活動内容について

### 【G o p p o ええぞなクラブ会長】

- ・健康増進課から依頼があり、4年前に介護予防リーダー講習会を実施したが、この時の一回きりだった。積極的に介護予防講習を実施していきたくったので残念だった。
- ・現在は、特に貯筋運動、関節トレーニング、操体法の3種類の運動に注力している。
- ・関節トレーニングは、山梨県甲州市の理学療法士の先生に指導を受けた。これを宇部に広げていきたい。来年は、この先生を呼ぶ予定だ。
- ・操体法は、体力づくり指導強化部門の有資格者などに入門編を教えている。東京都三鷹市では市を挙げてこれを実施しており、Jリーグのトレーナーにも採用されている。だが、この様に身体の歪みを正すことは健康に良いという認知が全国的に進んでいるにも関わらず、宇部市ではまだ医者でも知らない人が多く、協力が得られないことがある。関係者への操体法のPRと関係者の横のつながりの拡大が課題だ。

### 【市長】

- ・関係者の交流のために、プラットフォームの存在が重要である。

### 【市長】

- ・皆さんの活動が持続可能なものとなるように、活動環境を整備していきたい。
- ・「クラブの活動をどのよう他地区に波及させていくのか」を今後のテーマの一つとしたい。各地域に合ったクラブ運営が必要である。皆さんが蓄積されたノウハウ等も教えていただきながら、今後の展開や方向性を検討していきたい。
- ・市民にスポーツをして健康になってもらうことが目的である。目的に向かって様々な手法を活用していきたい。
- ・多くのご提言に対し、市がこれまで十分に応えられていないことは申し訳なく思う。アフターコロナ、ウィズコロナという新時代を迎え、更に新しい課題も出てくると思う。今後とも、皆さんからご意見をいただきながら、より良いものを作り上げていきたいのでご協力をお願いしたい。